

建設設備操業訓練施設整備計画

ACHIEVEMENTS

- 10月にプロジェクトコーディネーターのステファン・ウィンドバーガーがウガンダに赴任し、プロジェクトオフィスの開設など、ウガンダ建設交通省(MoWT)の協力の下、フィールドワークを開始しました。
- プロジェクトコーディネーターがドバイにあるコマツのトレーニング・デモンストレーションセンターを訪問しました。同センターでは、主にコマツのアフリカ・中東地域の代理店を対象とし、様々なトレーニングプログラムを実施しています。本プロジェクトでは、インストラクターを対象としたトレーニングの一部を、同センターにて実施する予定です。
- トレーニングニーズ調査(TNA)の実施機関として、日本のNPO組織である、日本地雷処理を支援する会(JMAS)が選定されました。TNAには(1)市場および労働ニーズ調査、(2)スキルギャップとトレーニングニーズ調査、の2つの目的があります。
- JMASは11月に国内調査を開始し、静岡県伊東市のコマツテクノセンターを訪問しました。また、現地調査に必要な質問票を作成し、MoWTの協力の下、現地オペレーターやインストラクターへ配布しました。



プロジェクトのキックオフミーティングをMoWTと実施しました。© UNIDO



プロジェクトコーディネーターがドバイのKomatsu Dubai Training and Demonstration Centerを訪問しました。© UNIDO

PLANNED ACTIVITIES IN DECEMBER 2019

- JMASが12月2日から16日の間、ウガンダにおいてTNAを実施します。最終日には調査結果に基づいたプレゼンテーションを実施予定です。プレゼンテーションには日本大使館やMoWT、コマツをはじめ、調査にご協力いただいたウガンダ現地企業・組織など、幅広くご参加いただける予定です。
- JMASはTNAの一環として、ドバイにあるコマツのトレーニング・デモンストレーションセンターを訪問予定です。トレーニング施設を見学し、本プロジェクトで実施予定のインストラクター向けトレーニングに応用できる部分を、最終報告書にて提案していただく予定です。



JMASが伊東市のコマツテクノセンターを訪問、視察しました。© UNIDO